

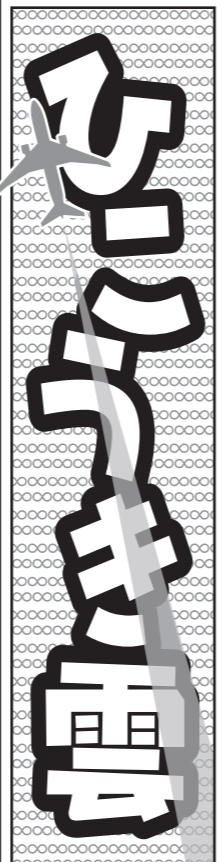
年々大型化する水害被害、さらにゲリラ豪雨による、被害地域の拡大。住宅の被害については、頼りになるのは保険金です。家や家財の普及費用を受け取るためには、火災保険に水害補償がセットのついた火災保険に加入しておく必要があります。火災保険は、自然災害が相次いでいるために2021年1月以降は、保険金が断続的に上昇する見込みです。早めに補償内容などを確認して、災害に備える必要があります。

洪水や土砂崩れなどに備える水害保険は、火災保険とのパッケージで加入するのが一般的です。一般的な火災保険には、洪水などが原因となる建物の補償は、ついていません。水害時の補償は、特約として加入者が自分の判断で加入しなければなりません。自然災害が多くなっている近年では、地方自治体が積極的にハザードマップを公開し

豪雨による洪水や土砂災害の被害が、年々増加傾向。

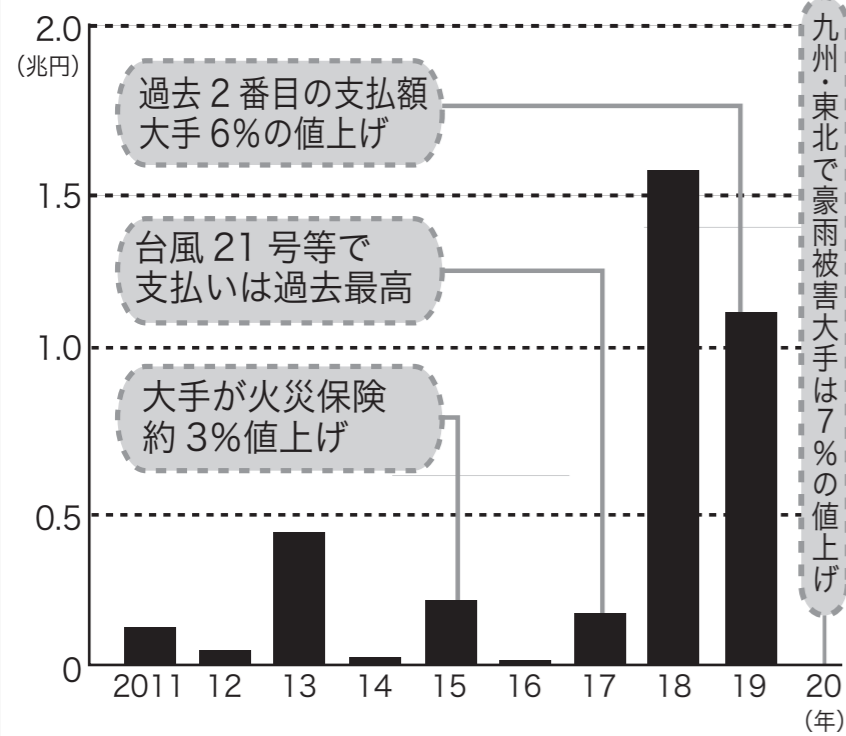
水災被害値上げに備え、特約も吟味。

長引くコロナ禍で、考えもなかった環境の変化に見舞われている方もいます。大手保険会社の保険金額は、だいたい同じですが、特約に違いが現れている！



発行所 株式会社 松下孝建設
 発行人 松下孝行
 編集責任 齋藤恭誠
 ■本社
 〒891-0108
 鹿児島市中山1丁目14-29
 TEL 099-267-7594
 ☎ 0120-079-089

■自然災害の急増で保険金支払額が増加。



約の必要性があるかどうか判断しなければなりません。気象庁によると、1時間の降水量が50ミリを超える雨の頻度は、高まっており、激しい雨が続き、高台にある家でも土砂崩れが発生したり、川から離れた都市部でも、側溝があふれたり、下水ホールから汚水や雨水が逆流するなど、今までは考えられなかった被害も観察されています。いつもは上手に取っている住宅も、取り囲む側溝が短時間であふれるなど、都市型災害のリスクが非常に高まっています。このような状況下では、自分の住居が抱えている災害リスクを普段から検証しておく必要があり、過去の経験がある場合は、なおさら、リスクの検証が必要で

ているので、その情報で自分の住居が浸水地域にあるのか、その他の災害に巻き込まれる危険がないかなどを参考に、特約の必要性があるかどうか判断しなければなりません。気象庁によると、1時間の降水量が50ミリを超える雨の頻度は、高まっており、激しい雨が続き、高台にある家でも土砂崩れが発生したり、川から離れた都市部でも、側溝があふれたり、下水ホールから汚水や雨水が逆流するなど、今までは考えられなかった被害も観察されています。いつもは上手に取っている住宅も、取り囲む側溝が短時間であふれるなど、都市型災害のリスクが非常に高まっています。このような状況下では、自分の住居が抱えている災害リスクを普段から検証しておく必要があり、過去の経験がある場合は、なおさら、リスクの検証が必要で

■各社でお勧めの補償は異なる

あいおいニッセイ同和損害保険	仮住まいの家賃や養生の為にブルーシートの設置費用を補償。
三井住友海上火災保険	床下浸水の場合でもエコキュート等の室外機の修理費用を補償。
東京海上日動ジャパン	独自ハザードマップを提供。築15年未満までを築浅割引の対象に。
損害保険ジャパン	

水災は、建物や家財への損害が認定される要件として、床上浸水か地盤から45センチを超える浸水などが発生した場合に限る事が多いのですが、「東京海上日動保険」の場合、特約を付けると水災認定されない床下浸水の場合でも屋外にある室外機なども補償対象になっています。家庭用燃料電池「エネファーム」や電気給湯器「エコキュート」など、高額な機器類を屋外に設置する場合は、特約が使えるかどうかの検討も必要です。水害の被害に備え、特約が使えるかどうかの検討も必要です。水災は、建物や家財への損害が認定される要件として、床上浸水か地盤から45センチを超える浸水などが発生した場合に限る事が多いのですが、「東京海上日動保険」の場合、特約を付けると水災認定されない床下浸水の場合でも屋外にある室外機なども補償対象になっています。家庭用燃料電池「エネファーム」や電気給湯器「エコキュート」など、高額な機器類を屋外に設置する場合は、特約が使えるかどうかの検討も必要です。水害の被害に備え、特約が使えるかどうかの検討も必要です。

災害は、他人事ではなく自分の事と考える。

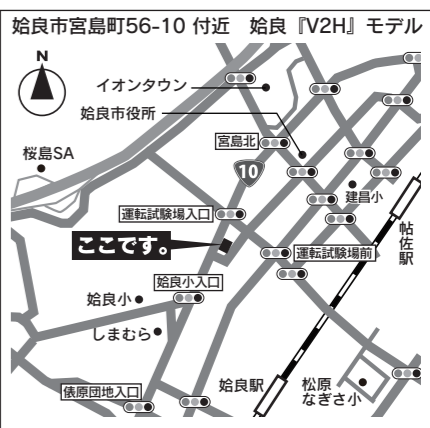
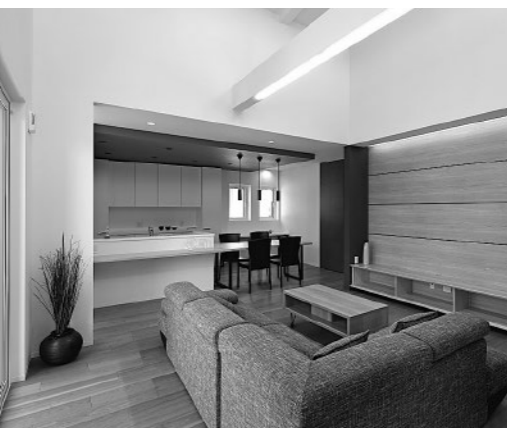
大手の損害保険会社は、様々な取り組みを行っています。例えば「損保ジャパン」の場合は、公的なハザードマップに過去の保険金支払いデータを加えたオリジナルのハザードマップを提供し、代理店のタブレットで住所を打つ込むと過去に現地で行った自然災害別の保険金支払実績や将来の災害リスクが表示されます。同社によると保険金を支払う事故物件は、水災・風災・雪災によるものが、火災の20倍以上になっているという事です。内閣府のデータでは、水災の補償まで付けている持ち家の

比率は、3分の2にとどまっているようです。

水災は、建物や家財への損害が認定される要件として、床上浸水か地盤から45センチを超える浸水などが発生した場合に限る事が多いのですが、「東京海上日動保険」の場合、特約を付けると水災認定されない床下浸水の場合でも屋外にある室外機なども補償対象になっています。家庭用燃料電池「エネファーム」や電気給湯器「エコキュート」など、高額な機器類を屋外に設置する場合は、特約が使えるかどうかの検討も必要です。水害の被害に備え、特約が使えるかどうかの検討も必要です。



始良『H2V』展示場 公開中!



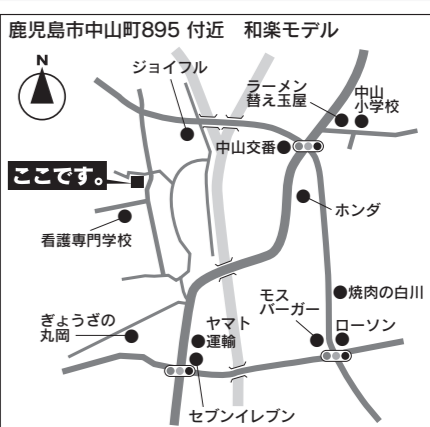
停電時、車から家へ電気を供給できる『V2H』システム搭載。感染症を提言できる循環空調システムと相乗効果のある設備。鹿児島に家族の日常と健康を守る家が完成しました。

2020年からは、自活エネルギー住宅の本格的なZEH(ゼッチ)の時代を迎えます。『V2H』住宅は、太陽光発電を軸に「自活エネルギー住宅」を実現。住宅とEV自動車が連結し、家庭用蓄電池の10倍以上の蓄電能を持つEV自動車が、停電時等の家庭用電源としても機能します。

松下孝建設がご提案する近未来型の自活エネルギー住宅を是非ご体感ください。

ハイブリッド・エコ・ハートQ 和楽展示場 公開中!

丁寧仕上げられた『和』の意匠は 静謐な美しさを いつまでも『楽』しめる



鹿児島市の気候に適した高气密・高断熱と「循環空調」システムの「和」をイメージしたモデルハウスです。一般家庭用のリビングサイズのエアコンで室内空間のすべてが温度差なく、一年中を快適に過ごせます。

高性能樹脂サッシと24時間計画換気で、結露の発生を防ぎ、家族の健康と住宅の高耐久性を実現しました。

ZEH基準を標準クリアした外皮性能とハウス・オブ・ザ・イヤー2013で大賞を受賞した公的にも認められた施工技術の粋。外装、内装共にこれまでの松下孝建設とは少し違う趣を感じてください。

ハイブリッド・エコ・ハートQ 薩摩川内展示場 9月22日まで公開



松下孝建設のHybrid eco-heart Q工法は、充填断熱と外張り断熱のW断熱工法です。外張り断熱には、遮熱シートが貼られ、住宅が蓄熱されるのを防ぎます。内側の充填断熱は外部の影響を受けにくいので、保冷材として室内の急な温度変化を防ぎ、また、気密性が高いので、室内の涼しい空気が必要以上に外部へ逃げていくのを防いでいます。松下孝建設が標準採用している第三種換気システムは、家全体の空気を動かし、エアコン一台でも温度差の少ない、快適な室内空間を実現しています。

住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 ☎ 0120-079-089